

25歳～65歳 832名に聞く “長生き”に関する意識調査

長生きを「不安」と捉える人が約9割 「リスク」と捉える人も約7割にのぼる

～20代-30代の男女間で意識と準備の実態に顕著な差が～

東京海上日動あんしん生命保険株式会社（社長 北沢 利文）は、この度、現代社会を生きる25歳～65歳の男女832名を対象に「長生き」に関する意識調査を実施いたしました。調査結果の概要をまとめましたので、以下のとおりご報告いたします。

1. 長生きについて

- 長生きを“不安”と捉える人が回答者全体で約9割、長生きを“リスク”と捉える人も約7割にのぼりました。

2. 長生きを不安に感じる理由

- 長生きすることに対して不安に感じることとして、「お金」、「病気・入院」、そして「介護」が上位にあげられました。

3. 長生きへの準備

- 45歳以上の人で「20代-30代の頃に長生きに向けて備えていなかったが、準備しておくべきだった」と思う人が5割を超えました。
- また、備えておくべきだったことは「節約・貯金」が5割を超えました。「健康管理を行っておく」「将来に向けたライフプランを立てておく」も3割を超え、上位にあげられました。

4. 20代-30代男女で、長生きへの意識に差

- 長生きをリスクと捉えている20代-30代男性のうち「長生き願望がある」と回答した人は“27%”、20代ではわずか“22%”に留まりました。
- 一方で、長生きをリスクと捉えている20代-30代女性のうち「長生き願望がある」と回答した人は“42%”、20代では“47%”と同年代男性を大きく上回る結果となり、長生きへの意識差が窺えました。
- 長生き願望がない理由として、男性では「長生きにこだわりがないから」、女性では「自分の介護で家族に負担がかかるから」が1番にあげられました。

5. 20代-30代男女の将来への準備

- 長生きをリスクと捉えている20代-30代男性のうち、約4割の人が「節約・貯金を行っていない」と回答し、“将来への準備が出来ていない”ことが窺えました。
- 一方で、長生きをリスクと捉えている20代-30代女性のうち「節約・貯金を行っている」と回答した人は約7割を占め、堅実に将来への準備を始めています。

以上

<はじめに>

世界的にも“長寿の国”として知られる日本。厚生労働省の平均寿命に関する最新データによると、男性では79.59歳とほぼ80歳に、女性では86.44歳と90歳に近いところまでできています。4人に1人が65歳以上の高齢者と言われる現代日本において、将来や長生きへの意識も変化してきているのではないのでしょうか。

そこで今回、東京海上日動あんしん生命保険株式会社では、現代日本に生きる人々の長生きへの意識や実態を把握し、お客様のニーズに合う、より良い商品を開発していくため、さらには、11月11日の「介護の日」を前に、25歳～65歳の男女832名を対象に、「長生き」に関する意識調査」と題したアンケート調査を実施いたしました。

調査結果によると、平均寿命の伸びや高齢化社会が進む一方で、「長生きすることに不安を感じる」と回答した人が“約9割”、また「長生きをリスク」と捉える人も回答者の“約7割”と、長生きや将来の生活に向けて何かしらの不安を抱いている人が大半を占めるということが明らかになりました。しかしながら、長生きをチャンスと捉え、老後の生活をアクティブに楽しもうとする50代-60代の姿も垣間見えました。

さらに、「将来・長生きへの備え」の実態を見てみると、特に“20代-30代の男女間”において明確な差が見受けられ、「長生きを“リスク・不安”と捉えながらも、長生きへの準備が出来ていない20代-30代の男性像」と「長生きを“リスク・不安”と捉え、長生きへの準備を行う20代-30代の女性像」が窺えました。

今回の調査結果が、“長寿大国日本”に生きる皆様にとって、「将来・長生きへの準備」について改めてお考えになるきっかけとなれば幸いです。

<調査概要>

- 表題:** 「“長生き”に関する意識調査」
- 調査主体:** 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- 調査手法:** インターネットリサーチ
- 調査時期:** 2010年09月25日(土)～2010年09月26日(日)
- 調査対象:** 25歳～65歳の男女
- 対象者居住地:** 全国
- 調査方法:** アンケート調査(インターネット調査による)
- 回答者数:** 832名(構成比は下表の通り)

サンプル数		20代 (25歳～29歳)	30代 (30歳～39歳)	40代 (40歳～49歳)	50代 (50歳～59歳)	60代 (60歳～65歳)
男性	416	52	104	104	104	52
女性	416	52	104	104	104	52
全体	832	104	208	208	208	104

※各図の<SA><MA>はそれぞれ以下を表しています。

- <SA> 選択肢から1つを選択する回答方式
<MA> 選択肢から複数選択する回答方式

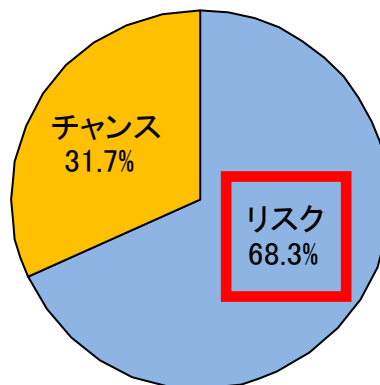
長生きを“リスク”と捉える人が回答者全体で約7割。 長生きを“不安”と捉える人も約9割にのぼる。

長生きを“リスク”と捉える人が回答者全体で約7割

現代社会を生きる人々は、長生きをリスクとチャンスどちらと捉えているのでしょうか。「長生きすること」がリスク、チャンスのどちらにあてはまるかと聞いたところ、全体では68.3%と約7割の人が“リスク”と回答しました。【図1】

【図1】長生きはリスク、チャンスのどちらにあてはまるか(SA)※回答者全体

(N=832)

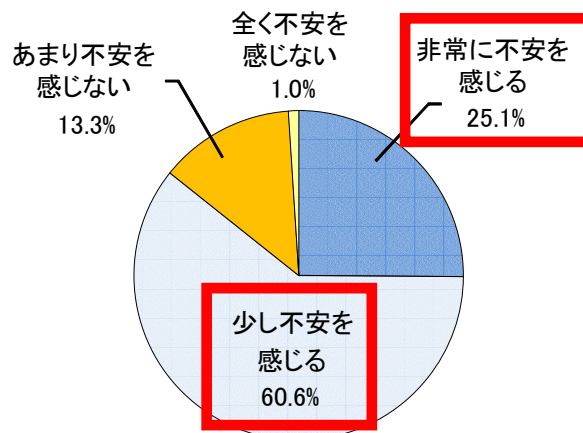


長生きを“不安”と捉える人が回答者全体で約9割にのぼる

長生きを“リスク”と捉える人が約7割を占める中、長生きへの“不安”を抱える人はどれ程いるのでしょうか。長生きすることに不安を感じるかと聞いたところ、回答者全体で85.7%、約9割もの人が不安を感じると回答しました。【図2】

【図2】長生きすることに不安を感じるか(SA)※回答者全体

(N=832)

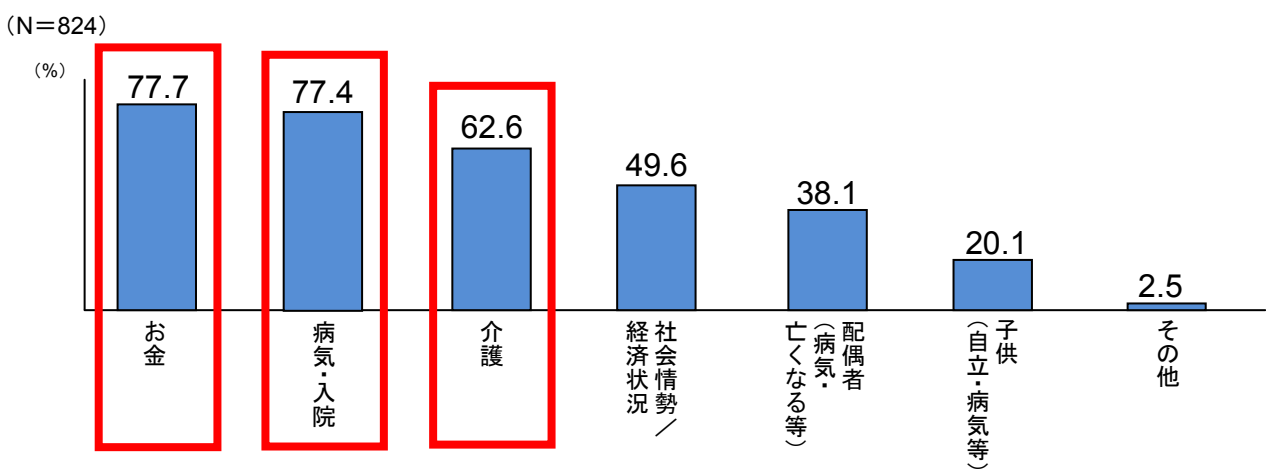


長生きに対して不安なことは“病気にお金、そして介護”。 不安を感じるようになった時期は“2008年リーマンショック以降”。

長生きを不安に感じる理由、“お金に病気、介護”が上位を占める

長生きを不安視する人が約9割という結果となりましたが、では長生きを不安に感じる“理由”は何なのでしょう。長生きすることに対して不安に感じることは何かと聞いたところ、“お金(77.7%)、病気・入院(77.4%)”が約8割で上位を占めました。次いで“介護(62.6%)”となりました。昨今の“社会情勢や経済状況”という社会的な不安よりも、“介護”という、より具体的に自分および自分の家族に関わってくる事柄を不安視する人たちが多く見受けられました。【図3】

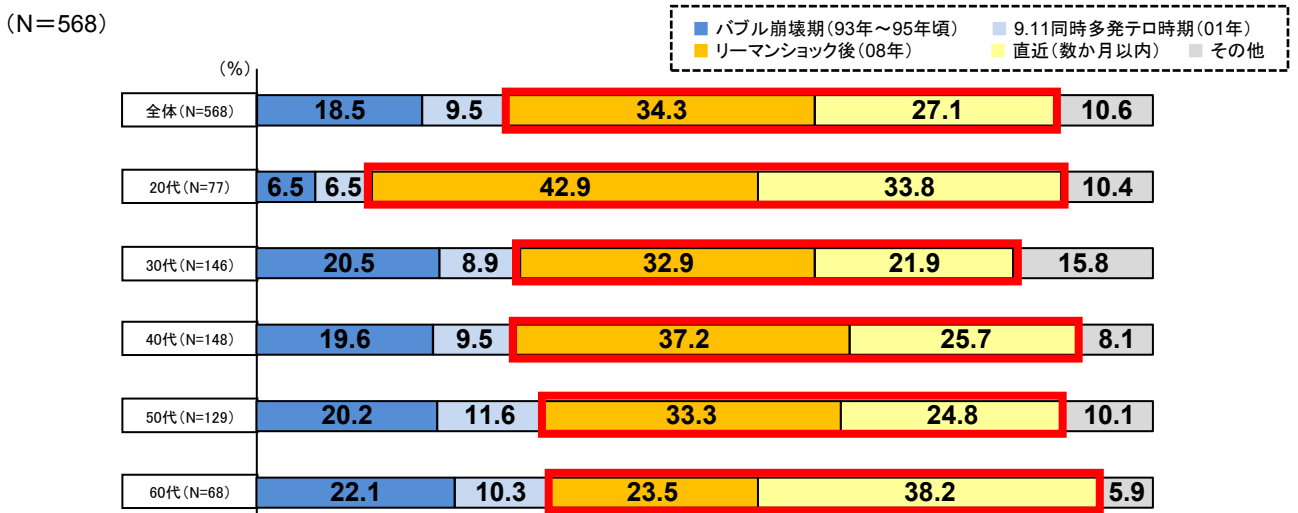
【図3】長生きすることに対して不安を感じること(MA) ※長生きを“不安”と回答した人



年代に関係なく、2008年以降の“直近2年”で長生きをリスクと捉える人が増加

長生きをリスクと捉えるようになった“時期”はいつ頃からでしょうか。長生きをリスクと捉えるようになったのはいつ頃からかと聞いたところ、年代に関係なく、“08年のリーマンショック後”と答えた人が全体で34.3%で1位となりました。次いで多かったのが“直近(数か月以内)”で27.1%となり、特に08年の直近2年で、長生きへのリスクを実感する人が増加していることが結果から明らかになりました。【図4】

【図4】長生きをリスクと捉えるようになった時期(SA) ※長生きを“リスク”と回答した人、年代別



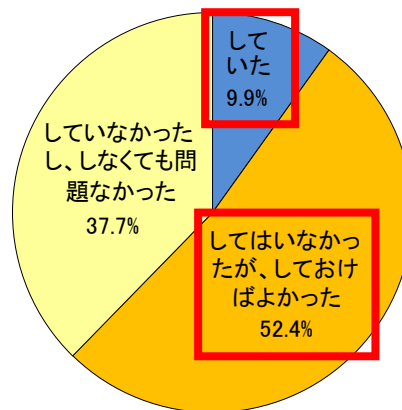
**45歳以上の5割が“長生きの準備をしておけばよかった”と回答。
しておくべきだったこと“節約・貯金”が5割、ライフプランを立てておく”も3割に。**

20代-30代の頃、長生きへの備えをしておくべきだったと後悔する人が5割を超える

45歳以上の方は、長生きのリスクや不安に備えて、20代-30代の頃から準備が出来ていたのでしょうか。45歳～65歳416名に対して、20代-30代の頃に長生きに向けて準備を行っていたかと聞いたところ、準備をしていたと答えた人は約1割、更に5割を超える人がしておけばよかったと回答しました。【図5】

【図5】長生きへの準備を行っていたか(SA)※45歳～65歳

(N=416)

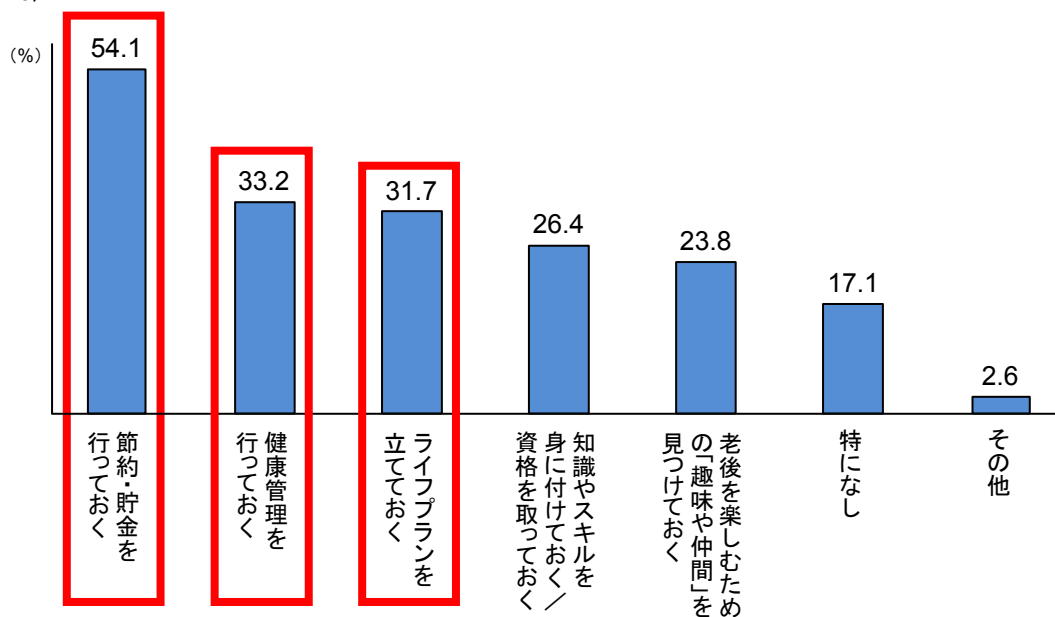


20代-30代の頃にしておくべきだったこと、“節約・貯金に健康管理、ライフプランを立てておく”

更に、20代-30代の頃に長生きに備えてしておくべきだったこととは聞いたところ、“節約・貯金(54.1%)、健康管理(33.2%)、ライフプランを立てておく(31.7%)”が上位という結果となりました。【図6】

【図6】長生きに備えてしておくべきだったこと(MA)※45歳～65歳

(N=416)



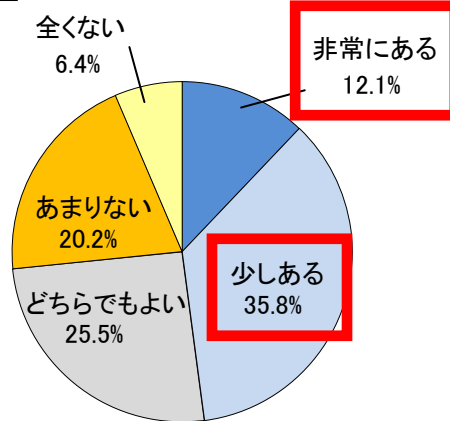
長生きをリスクと捉え、“長生き願望が薄れる20代-30代の男性”と 長生きをリスクと捉えながらも、“長生き願望を持つ20代-30代の女性”。

積極的に「長生きしたい」と言い切れない人が5割を超える

長生きをリスク・不安と捉える人が大半を占める中、“長生きしたいという願望”を持っている人はどれ程いるのでしょうか。長生きしたい願望について聞いたところ、長生き願望があると答えた人が47.9%と半数を割る結果となりました。【図7】

【図7】長生き願望について(SA)※回答者全体

(N=832)

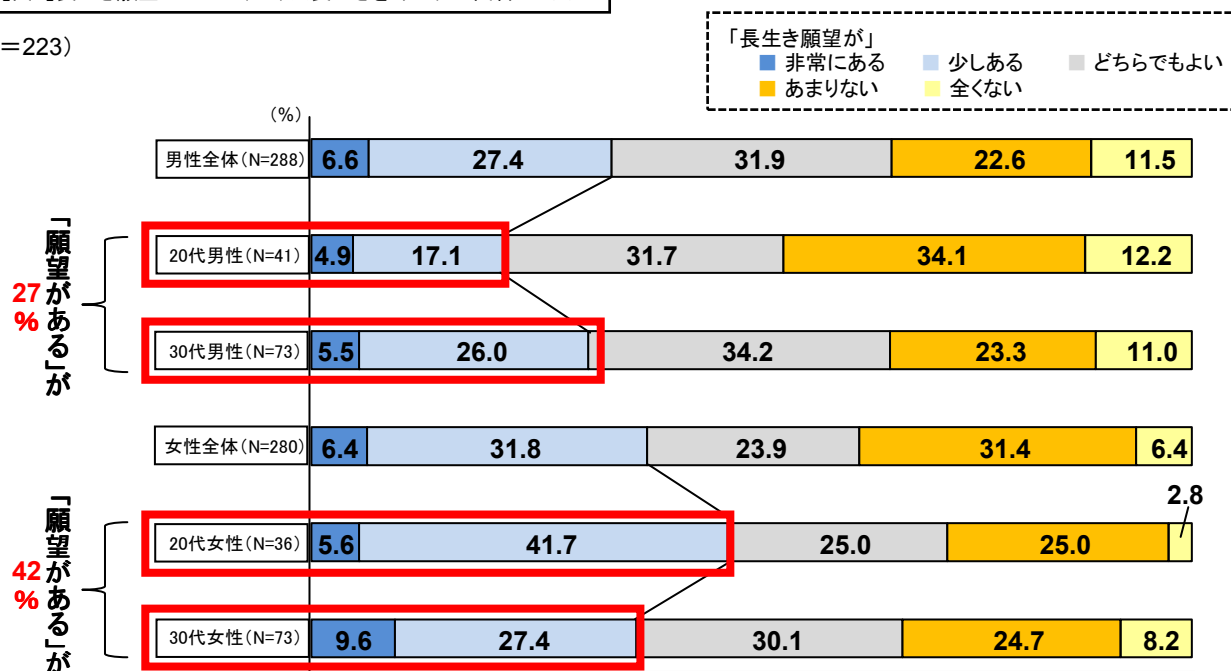


長生きをリスクと捉え、長生き願望が薄れる“20代-30代の男性”と、 リスクと捉えながらも長生き願望を持つ“20代-30代の女性”

長生きへの願望については、“20代-30代の男女間”で差が見受けられました。長生きをリスクと捉えている20代-30代の男性のうち、“長生きしたい願望がある”と回答した人はわずか27%に留まりました。一方、同年代女性では、長生きをリスクと捉えていながらも“長生きしたい願望がある”と回答した人が42%という同年代の男性を上回る結果となり、長生きへの意識差が窺えました。【図8】

【図8】長生き願望について(SA)※長生きを“リスク”と回答した人

(N=223)

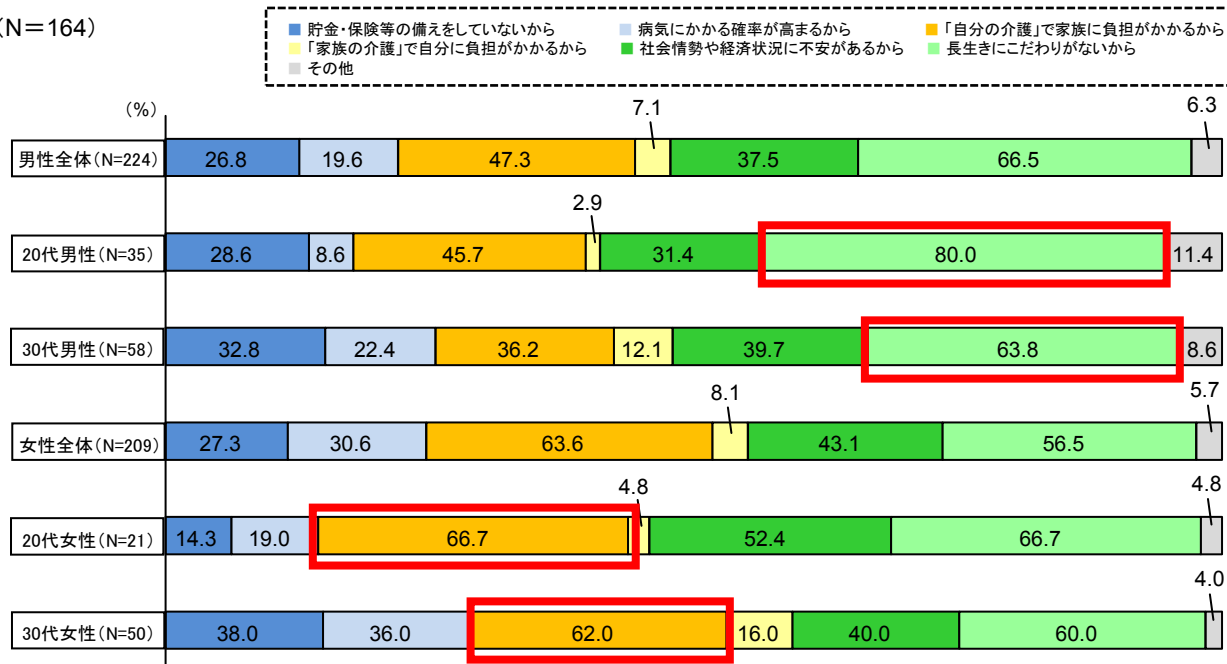


長生き願望がない理由、20代-30代の男性のトップは「長生き」にこだわりがないから 一方、20代-30代の女性では、「自分の介護」で家族に負担がかかるから」がトップに

長生きをリスクと捉え、長生き願望が薄れる20代-30代の男性と、リスクと捉えながらも、長生き願望を持つ同年代の女性という意識の差が窺えましたが、長生きしたいと思わない理由は何なのでしょう。長生き願望がないと答えた20代-30代の男女にその理由を聞いてみたところ、20代-30代の男性のトップは「長生き」にこだわりがないから。一方女性では、「自分の介護」で家族に負担がかかるから」という家族のことを気にする回答がトップとなりました。【図9】

【図9】長生き願望がない理由(MA)※長生き願望がないと回答した人

(N=164)



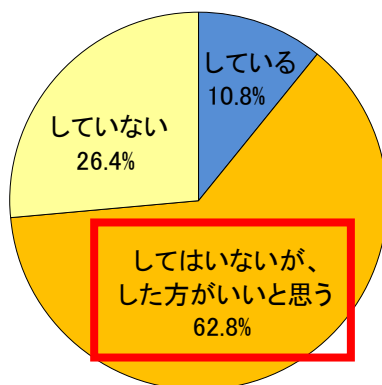
**長生きをリスク・不安と捉えながらも、“将来への準備が出来ていない20代-30代の男性”と
長生きリスク・不安に向けて、“着々と将来への準備と始める20代-30代の女性”。**

長生きへの備えの“意識”を持つ25歳~44歳は6割を超える

長生きのリスクや不安に備えて、準備をしている人、または意識を持つ人はどれ程いるのでしょうか。25歳~44歳416名に対して、長生きへの準備をした方がいいと回答した人は62.8%と6割を超える結果となり、将来への備えの意識を持つ回答者が多いことが明らかになりました。【図10】

【図10】現在、長生きへの準備を行っているか(SA)※25歳~44歳

(N=416)



**長生きをリスク・不安と感じながらも、節約・貯金が出来ていない“20代-30代の男性”と
長生きのリスク・不安に備え、節約・貯金を行う“20代-30代の女性”**

一方、20代-30代の備えの実態はどのようなものでしょうか。長生きをリスクと捉えている20代-30代の節約・貯金状況を見てみると、前述の長生きへの願望と同様に、男女間で差が見受けられました。【図11】

【図11】節約・貯金を行っているか(SA)※長生きを“リスク”と回答した人

(N=223)

